

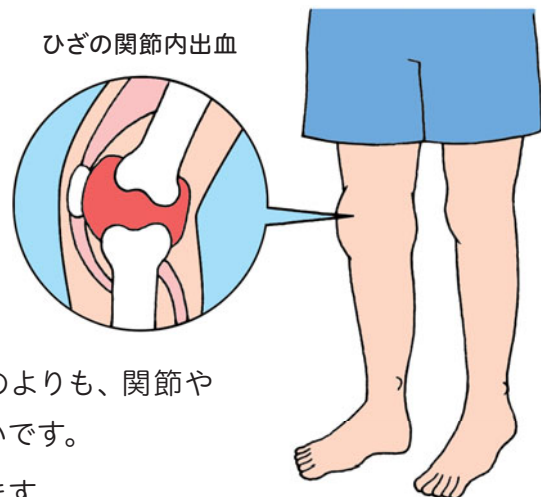
学校生活で先生にお伝えしたいこと

息子は血友病といって、生まれつき血を止めるための成分が不足しており、血が止まるのに時間がかかる体質です。

止血に必要な成分を薬でおぎなっているので、普段は他のお子さんと同様変わらない生活を送ることができます。学校の集団生活で息子が友人と一緒に元気に成長できるよう、ご理解、ご協力いただけますと幸いです。

出血症状について

- ◎ 出血を予防するための薬を使っているので、普段はあまり出血しませんが、はげしく転んだり、強くぶついたりすると出血することがあります。
- ◎ 出血すると、青あざになったり、歩き方がおかしくなったり、はれあがって痛がったりします。
- ◎ 出血は、切り傷や鼻血などの目に見えるものよりも、関節や筋肉の中などの目に見えない「内出血」が多いです。
- ◎ 軽い出血は、しばらく安静にしていると治ります。



知っておいていただきたいこと

- ◎ ケガをして血が止まらないときには、注射が必要になることがあります。息子は自己注射のトレーニングを受けているので、保健室で注射をさせてください。また、予め保健室に注射を保管させてください。
- ◎ もしも注射しても血が止まらないときには、すぐに私(保護者)にご連絡ください。
- ◎ 周りのお子さんへの説明は、「青あざがしやすい体質」「血が止まりにくい体質」などととどめてください。
- ◎ 普段は特別な配慮は必要ありません。体育の授業では、武道の試合などには参加できない場合があります。また、出血や痛みのために運動できない日はご連絡します。運動系の部活については、主治医と顧問の先生に相談してから無理なく参加させます。